

中国の人権を考える映画・待望の続編

709の向こう側

The Other Shore

彼らが向こう側で見たものとは？

「善良な人さえいれば、この民族この国には希望がある」

「身は自由な世界に、心は中国の民衆とともに」

監督：盧敬華

プロデューサー：江瓊珠

製作：中国人権派弁護士支援グループ

盧・江氏来場！

エミリー・ラウ氏ゲスト参加！

12月11日（火）18時～21時 明治大学リバティワー1階1012大教室



映画「709の向こう側 (709 The Other Shore)」上映会～ 2015年7月9日の弁護士一斉拘束から3年。中国で続く人権派弁護士への弾圧について考える

2015年7月9日に、中国大陆において、人権派弁護士が一斉連行される事件が発生しました（「709事件」）。連行・拘束された弁護士の多くがその後釈放されましたが、現在でも行方が分からぬ弁護士がいるほか、拷問や自白の強要、弁護人選任権の侵害等の問題が起きています。日本社会で同事件についての認識をより深めるため、同事件を追ったドキュメンタリー映画「709の向こう側 (709 The Other Shore)」の上映会を企画いたしました。

本映画の前編にあたる「709の人たち」と同様に、本作は香港のベテランジャーナリストである盧敬華氏が監督を、江瓊珠氏がプロデューサーを務めており、今回、二人が来日し、映画上映後のトークに参加します。前作は中国国内の人権派弁護士や家族へのインタビューから構成されていましたが、本作は、迫害を受けて海外に逃れた人権派弁護士や家族へのインタビューを中心です。

今回は盧・江両氏に加え、香港を代表する民主派政治家で「中国人権派弁護士支援グループ」理事のエミリー・ラウ氏が特別ゲストとして来場し、トークに参加します。

東京上映会

日時：2018年12月11日（火）18時～21時
場所：明治大学リバティタワー1階1012大教室
予約不要

お申し込み・お問い合わせ：
tak19710528@gmail.com

主催：明治大学現代中国研究所、東京大学阿古智子研究室
認定NPO法人 ヒューマンライツ・ナウ
共催：国際人権NGOヒューマン・ライツ・ウォッチ、アムネスティ・インターナショナル日本

